

# 会 議 録

## 1 会議名

第8回高士区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 地域活動支援事業について（公開）

①平成27年度高士区の採択方法等の検討について（公開）

②平成27年度高士区の審査方法の検討について（公開）

③募集説明会について（公開）

### (2) 自主的審議につなげるための高士区の現状分析について

・「若い人たちの意見をお聞きするための意見交換会」について

## 3 開催日時

平成27年1月29日（木）午後6時30分から午後8時20分

## 4 開催場所

公民館高士分館 2階 中会議室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：飯野憲静、飯野秀一、上野忍、太田早苗、小林トシ子、塩坪恭平、  
嶋田征夫、中川英一、横川英男、横山とも子（欠席1人）

・事務局：中部まちづくりセンター 北島センター長、小林主事

## 8 発言の内容

### 1 開 会

#### 【小林主事】

定刻になりましたので、平成26年度第8回高士区地域協議会を開催します。本日の出席人員は現時点で9名です。保坂委員からは、欠席との連絡をいただいております。小林委員からは連絡頂いておりませんので、後程来て頂けると思います。

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上

の出席がありますので、会議が成立することを報告します。

## 2 会長挨拶

### 【小林主事】

はじめに、塩坪会長からご挨拶をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたしますします。

### 【塩坪会長】

皆さん、今日のご苦勞様です。12月の初雪から今年の冬はどうかと思っていたのですが、心配しておりました降雪のほうが、まずまずで来ております。しかし大寒に入り、寒さが厳しくなってきましたので、皆さん健康に気を付けてください。もうすぐ2月で立春となるので安心して、2月に大雪になったこともありましたので、その点も充分、体に気を付けて頂きたいと思います。また、2月から4月は忙しくなる時期ですが、インフルエンザも流行ってきていますので、忙しい時分にインフルエンザにかかると大変だと思いますので、この点も健康に留意して今年もよろしくお願いいたします。

### 【小林主事】

ありがとうございました。それでは、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長から議長を務めていただきます。塩坪会長、よろしくお願いいたします。

### 【塩坪会長】

それでは議長を務めさせていただきます。終了時間は概ね毎回午後8時と予定しています。特に今日は寒さも厳しいので、早く終了するようにスムーズな進行にご協力お願いいたします。

本日の会議録の確認者は、名簿順により中川委員にいたします。

## 3 議 題

### (1) 地域活動支援事業について

#### ①平成27年度高土区の採択方針等の検討について

### 【塩坪会長】

それでは本日の議題に入ります。3議題(1)地域活動支援事業について、①平成27年度高土区の採択方針及び、②審査方法の検討についてです。4月から募集を開始する予定ですが、募集に備えて高土区の採択方針等をあらかじめ決定しておく必要

がありますので、本日は資料に示された項目について皆さんと協議し、決定していきたいと思います。はじめに、資料について事務局から説明をお願いします。

**【小林主事】**

— 資料No.1 No.2に基づき説明 —

**【塩坪会長】**

ありがとうございました。ただ今の説明で意見や質問のある方は、ご発言をお願いします。

**【飯野秀一委員】**

特にありません。

**【塩坪会長】**

今、特にありませんという発言がありましたが、皆さんよろしいでしょうか。

それでは次に進めて、資料No.1の採択方針等の検討について審議を行います。

事務局から説明がありましたように、一括検討ということでやらせて頂きたいと思えます。そして、一括での検討が終わりましたら、募集期間の決定を行いたいと思えます。よろしくをお願いします。

それでは、一括採決ということで、皆さんのほうから何かありましたらご発言をお願いします。

— 発言なし —

**【塩坪会長】**

皆さん、発言がないようでしたら、今年度どおりの採択方針でよろしいでしょうか。

— よしの声 —

**【塩坪会長】**

では、平成27年度地域活動支援事業に係る採択方針等につきましては、今年度どおりの方針ということにさせていただきます。

では、次に募集期間についてですが、募集期間は4月1日から2週間程度となっていますが、これはどのようにしますか。

**【小林主事】**

本日皆さんにお配りしたカレンダーの裏側に、4月と5月のカレンダーが付いていますのでご覧ください。募集の開始は4月1日になるだろうと思われます。今年度ですと、土日を除いて2週間程度数えたので、22日が締め切りでした。なので、来年

度も同じやり方をすると、締め切り日は4月20日になるかと思われませんが、その辺りの日付をどうするか決めて頂きたいと思います。よろしくお願いします。

**【飯野副会長】**

今年度は4月22日で締め切りましたが、4月という月は、それぞれの団体の役員構成が変わる場合が多々あるので、締め切りは4月末が妥当かと思えます。今年度の場合は5月に入ると連休が重なるので、採択が遅くなり、自主審議の時間が少なくなるのではないかということで、4月の中旬くらいで締め切りましたが、やはりその団体役員が変わってすぐですと、なかなか軌道に乗らないので、4月末がよいと思えます。

**【塩坪会長】**

今、副会長から発言がありましたけど、いかがでしょうか。

**【飯野秀一委員】**

いつも、体育協会で提案を出していますが、体育大会は5月の最終ということになりますので、そうすると、いつも採択していただいているのですが、あまり遅いというのは、差し障りがあるという気がします。

**【塩坪会長】**

飯野委員からは、5月の高士地区の体育大会に間に合わせるなら早い方がよいという意見と、飯野副会長からは、4月は団体の役員も変わるので、少し遅くした方がよいという意見が出ています。このどちらかの意見に決めて頂きたいと思えます。

先日の新聞には、金谷区の募集期間が4月1日～30日に決定したと載っていました。高士区のように早い時期に体育大会のようなものがなかったから、そうされたのかも知れませんが、その地区それぞれですね。

**【太田委員】**

もう3年もやっていますし、そんなに延ばさなくても、この2週間程度で大丈夫だと思います。

**【塩坪会長】**

2週間というと、今年は20日ですね。

**【横川委員】**

募集期間は確かに長い方がよいでしょうし、提案される事業の中で実施が一番早いと思われる体育大会までに間に合うような形の中で、募集期間を最大限延ばせば一番

よいと思います。

**【塩坪会長】**

そうですね。締め切った後、事務局で一覧表等の作成をする時間もかかりますし、それが出てきて、皆さんから点数付けをしていただいて、協議会で採択決定するのに時間が掛かって、4月20日に締め切っても、採択決定は5月20日過ぎくらいになるから、体育大会に必要な備品の注文は間に合わないとは思いますが、それでも早い方が体育協会にとってよいと思います。

**【小林主事】**

今、2つの案が出ていますが、仮に4月20日を締め切りとした場合、5月の後半には採択決定が可能かと思われます。また、4月30日にした場合、5月末か6月上旬の採択決定になると思われます。

**【飯野秀一委員】**

具体的なことを言いますと、体育大会の品物の発注と言いますか、そういう期間が欲しいもので、出来るだけ早くという気持ちがあります。

**【横川委員】**

そのような事情があるのでしたら、とりあえず早く締め切ってはどうか。金額が余ったら、また2次募集も考えられますので、体育大会に間に合わせたいという事情があるのであれば、それに合わせるような形でやってはいかがでしょうか。

**【塩坪会長】**

皆さん、どうでしょうか。4月20日にするか4月30日にするかを決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

**【太田委員】**

挙手で決めてはどうでしょうか。

**【塩坪会長】**

それでは20日という方は、挙手をお願いします。

— 9名挙手 —

**【塩坪会長】**

4月20日でよろしいですか。それでは、募集期間は4月1日～20日ということにさせていただきます。

②高土区の審査方法について

**【塩坪会長】**

次に高土区の審査方法について審議を行います。資料No.2を出して頂いて、こちらでも基本方針からその他までを一括協議したいと思います。ただ、「採択事業の決定等」の項目の「順位付けの方法」について、正副会長より内容変更の提案がありますので、こちらを先に協議したいと思います。事務局から説明をお願いします。

**【小林主事】**

— 資料No.2に基づき説明 —

**【塩坪会長】**

ありがとうございます。ただ今の説明について、何か疑問のある方はご発言をお願いします。

**【中川委員】**

今の事務局からの説明を聞いて思いましたが、高土まつりは一人の×で順位が下がっていると言われましたが、なるほど、もっともだと思いました。その辺は改めなければいけないと思います。正副会長の案に賛成します。

**【塩坪会長】**

ありがとうございます。今年度も、この部分については協議しましたね。その時は「もう1年様子を見てください」ということで、それを前年どおりとしたら、また今年もこういうことが起きたので、来年度は副会長とも相談しまして、直させて欲しいということを提案しました。今、中川委員からも同じような意見が出ましたが、皆さんいかがでしょうか。改正してもよろしいですか。

— よしの声 —

**【飯野副会長】**

やはり、点数の高い順で順位付けすべきだと思います。

**【塩坪会長】**

では、皆さん賛成の方は挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

**【塩坪会長】**

ありがとうございます。それでは、そのように訂正させていただきます。

変更については皆さんから承認していただきましたが、その他について、皆さんの方で変更等のご意見がありましたらお願いします。皆さん、ご質問がありませんでし

たら、今年度どおりということによろしいでしょうか。

【中川委員】

採点もやっと慣れてきたところで、今年度どおりやっていただければ、よいと思います。

【塩坪会長】

中川委員から、今年度どおりでよいと発言がありましたが、皆さんはいかがでしょう。

【嶋田委員】

よいと思います。

【塩坪会長】

では、今年度どおりでよろしいという方は挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

【塩坪会長】

では、今年度と同様とします。ありがとうございました。

③募集説明会の実施について

【塩坪会長】

それでは③募集説明会についてですが、はじめに事務局から説明をお願いします。

【小林主事】

— 資料No.3に基づき説明 —

【塩坪会長】

ありがとうございました。それでは、実施日を先に決定したいと思います。説明会も早目の方がよいと思いますが、皆さんご意見はいかがでしょう。まずは、平日よりも日曜日の方がよいでしょうか。

【横山委員】

今年度は何曜日の何時でしたっけ。

【北島センター長】

3月15日、土曜日の午後1時30分から開催しました。

【横山委員】

この前開催した、「若い人たちの意見をお聞きするための意見交換会の打ち合わせ会」での意見も考慮すると、平日の夜でも日曜日でも、周知の仕方次第で、結局来る

人は来るとは思うんですよね。ただ午後だと、やはり日曜日はお出かけしたりというのがあるとすると、午前中がよいと思います。平日の夜よりは、日曜日の午前中ですね。

**【塩坪会長】**

皆さん、横山委員のご意見に対していかがでしょうか。確かに午後になると出かけるという人もいますよね。

**【横川委員】**

今、横山委員の言われたとおり、人が集まりやすいのは、日曜日の午前中だと思います。やはり午後からですと、皆さん出かけられるでしょうし、日曜日の午前中が妥当だと思います。

**【塩坪会長】**

他の皆さんはいかがですか。

**【中川委員】**

それでよいと思います。日曜でないと集まりも悪いし、平日の夜よりも日曜日の午前中がよいと思います。

**【飯野秀一委員】**

そうですね、午前中の方がよいかもしれない。

**【塩坪会長】**

今、中川委員や飯野委員からも午前中がよいのではないかという意見が出ましたが、皆さん日曜日の午前中ということで、日程を探して頂きたいと思いますが、よろしいですか。

**【飯野秀一委員】**

私事で悪いのですが、2月22日、3月8日はすでに予定が入っています。私にこだわらず、決めて頂いてよろしいですよ。

**【塩坪会長】**

すると3月1日の午前中しかないですね。

**【北島センター長】**

3月1日の午前中は、春日区の説明会が入っておりますので、難しいですね。

**【塩坪会長】**

春日区が入っていましたね。2月は23日以降ということだと、日曜日はないと



ということで、3月しかないんですけどね。去年は15日だから、今年も8日か15日くらいになってきますけども、あとは22日、29日になってきますと、卒業式とか入学とかの準備が入ってきて、若い人も忙しいんじゃないかと思います。

**【飯野副会長】**

3月の場合1日、8日、15日、22日というふうにありますので、飯野委員が8日の都合が悪いからそれを外すということになると、15日、22日になりますね。ただ、先程の締め切りの関係だと、4月20日になるわけだよね。そうすると、説明会を遅くして早く締め切るというのも、どんなものかと思うので、個々の都合はあるけれど、締め切りの関係からすると、やはり1日か8日ごろになるのかなと思います。ただ、1日は既に春日区が午前中にやるということになると、8日がよいのかなと思います。そう言って、私自身が8日に必ずしも出席できるかというのは、今の現状では分からない部分もありますが、できるだけ出るようにしたいと思います。

**【太田委員】**

土曜日よりも日曜日の方がよいのですよね。

**【塩坪会長】**

土曜となると、若い人たちの参加とかそういうことを考えると、土曜日は仕事があるから駄目だと言う人が多いと思います。

**【太田委員】**

土曜日が休みの方もいらっしゃると思いますよ。

**【塩坪会長】**

そうですね。ただ、より多くの人が出て来てくれるのは、日曜日かなと思います。

**【太田委員】**

そうですね。私たちも、決めてもらえばその日に出られるようにします。

**【塩坪会長】**

それでは、飯野委員には申し訳ないですが、3月8日の午前中ということによろしいですか。

**【飯野秀一委員】**

よいですよ。

**【塩坪会長】**

では、3月8日午前中で決定します。

**【北島センター長】**

時間は午前10時からでよろしいですか。

**【塩坪会長】**

では、3月8日の午前10時から開催を予定していますので、よろしくお願ひします。

それから、今度は議題の中で、委員の中から発表者を何人か選ぶということですが、どなたにしましょうか。

**【飯野副会長】**

その前に、私から、「飯田川の桜並木」についてお話させて頂きたいと思います。昨年末、皆さんにお話したのですが、是非大勢の方から見て頂きたいということで、この募集説明会での上映をお願いしたわけです。DVDの著作権に関しては、飯田町内会長の了承を得てありますので、是非皆さん見て頂きたいなと思っております。

また、その次の「委員として望む事業・地域活動支援事業のPR」も含めて、ここでお話させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

**【塩坪会長】**

ありがとうございました。飯野副会長から少し触れていただきましたが、この説明会の時に、「委員として望む事業・地域活動支援事業のPR」を2人か3人から発表して頂きたいと思いますが、今日決めたほうがよいですか。

**【北島センター長】**

はい。お願ひします。

**【塩坪会長】**

それでは、2人程出て頂きたいと思います。どなたか手を挙げてくださる方はいらっしゃいませんか。

横山委員、「夢は牛のお医者さん上映会事業」のやつで、ひとつ皆さんにPRとしてみてはどうですか。

**【横山委員】**

私、もしかしたらその日は仕事で、出席できない可能性があります。

**【塩坪会長】**

では、横川委員どうですか。体育協会の会長は都合が悪いようすし。

**【横川委員】**

その責任は取れません。

【塩坪会長】

横川委員、ひとつお願いします。

【横川委員】

黙っていても時間ばかり無駄に過ぎていくから、駄目な人を除いてくじ引きをやったらどうですか。お互いに責任はあるのですから、当たった方は仕方ないということにしましょう。

【太田委員】

この飯田川の桜並木のPRをやりますよね。これも支援事業の1つだから、これも1つに数えることはできないのですか。

【飯野副会長】

よいですよ。私、PRも含めて説明します。

【塩坪会長】

では、飯野副会長ともう一人、どなたかにお願いしたいのですが、どうでしょう。

【飯野秀一委員】

自分がやることになれば、8日の予定はキャンセルしてこっちに出るというのもありですが…。

【塩坪会長】

飯野委員は責任感が強いからね。

【飯野秀一委員】

と言っても、牧区の方へ行くので難しいかなとも思います。

【塩坪会長】

では、飯野委員もどうするか考えておいてください。

【飯野委員】

そうします。

【塩坪会長】

事務局、よいですか。

【北島センター長】

そうしましたら、②の副会長さんからDVDをご紹介頂いて、次にお名前がでておりました、横川委員さんから委員として望む地域活動支援事業のPRということで、

併せてお願いしてもよいですか。お時間は30分程度ございますので、その中で調整して頂いて。例えば、飯野副会長から25分程度、DVD観賞も含んで紹介して頂き、その後、横川委員は5分程度で、望む事業など、活動支援事業のご紹介をお願いしたいと思います。

**【横川委員】**

無駄話をするのなら、1時間でも2時間でもいくらでも出来ますが、人前で説明するとなると苦手ですが、分かりました。

**【北島センター長】**

申し訳ありません。よろしくお願いいたします。

**【塩坪会長】**

これで説明会の期日と発表者のほうは、横川委員と飯野副会長にお願いするという  
ことで、進んでいきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

**(2)自主的審議につなげるための高土区の現状分析について**

**【塩坪会長】**

それでは議題2、自主的審議につなげるための高土区の現状分析についてです。

前回の協議会で実施を決定しました「若い人たちの意見をお聞きするための意見交換会」について1月22日に打ち合わせ会を行いましたので、このことについて事務局から報告をお願いします。

**【小林主事】**

— 資料No.4に基づき説明 —

**【塩坪会長】**

ありがとうございました。

**【飯野副会長】**

事務局から報告があったとおり、ここに参加したのは、塩坪会長、保坂委員、横山委員、横川委員と私です。この資料に、出席された若い人たちの意見が書いてありますが、私が想像したよりも年齢の差と言いますか、考え方の相違と言いますか、全く話が噛み合わないという感じでした。

それと、私が一番びっくりしたのは、今回お集まり願ったのは、全て既婚者、子どもを中心としたお考えを持っている方でした。私にすれば、「未婚者の方とも意見交換をしてはどうでしょうか」と言ったら、「未婚者と既婚者とは一緒になって話したって、

お互い敵同士みたいなもんだから一緒になって話は出来ない」と言うんですよ。それが一番びっくりしたことです。というのは、我々の社会構成というのは、子どももいて、既婚者もいて、未婚者もいて、我々爺ちゃん婆ちゃんもいるから、社会が成り立っているのに、そう言うので全く私はびっくりして、話が噛み合わないなという感じを受けました。他の方は、どんなもんでしょうか。

#### 【塩坪会長】

私は、もう孫に近いような人たちが来て、内容的には全然、副会長が言ったように、噛み合わないような状態でした。私が一番驚いたのは、地域愛と言いますか、祖先先祖に対して、「高土地域で頑張られてきたのだから、自分もここで生きていく」という気持ちでいるということではないのです。そのためか、「地域について話合っても…」という意見も出ました。ただ、話していくと、時間を掛けていけば、何とか話合いができるのかなとも思っていました。若い人なので、私は歳の差関係で少し違和感もありましたが、若い人たちは若い人なりの考えを出していると思っていました。

ただ、もう少し前向きな答えが欲しかったなと思います。

#### 【横川委員】

今、会長と副会長が言われたとおりでしょうけど、私は会長や副会長よりは若い方なので、若い人たちの言っている意味もある程度分かりますし、共感する部分もありました。私が思ったのは、「やはり今の高士を表しているな」という意見が多かったということです。やはり大体、後ろ向きの意見ですね。前を向かないで後ろを向いて歩いているような感じを受けました。

ただ問題は我々も若い人たちに対して、「これからの高士をどうしようか」という問いかけをあまりしないから、自分の思っていることだけをさらけ出したっていうふうな部分が多くありました。それで、参加された方たちもそうですし、私も若い時は「地域のことよりも自分のこと」、「高士がどうなろうと、自分たちがよければよい」というふうな部分の考え方もしていました。

私が「高士のことはもちろん、色んなことを考えなくちゃいけないな」と思い出したのは、PTAをやったりとか、体協に入ったりとかして色んな人、色んな上の人たちと付き合いをさせて頂いて、色んな意見を聞いて、「自分のためだけでなく高士のために何かをしなくちゃいけないな」というふうな考え方が芽生えて来ました。それも大体40代くらいになってからです。

だから、この間の打ち合わせ会で、若い人たちが言われていることも本当に分かる気がします。

それと、打ち合わせ会が終わってから、何名かの方と話しましたが、「今日ここに集まったのは、これからの高士をどういうふうにしたらよいのかを話し合うため」と言われていました。この話をして、本当にまだまだ救いようがあるなと思いました。だから、もっとこういうような形の中で、どうしたらよいのというような質問の仕方をすれば、後ろ向きでなく前向きな意見が出て来るんじゃないかなという気がしました。

#### 【塩坪会長】

横山委員、お願いします。

#### 【横山委員】

私も横川委員が言われたように、初めてにしては割と意見が出たかなというのは思いました。最終的な結論としては、予定として2月に意見交換会を実施するという段取りで始めた話でしたけども、今の段階ではちょっとやっても難しいだろうなと感じました。

参加された方が言われていたように、確かに沢山の方に集まってもらって、「意見を出してください」と言っても、出る人は一部の人であって、出ない人は出ないのだなと思います。後は、この資料の中にもありましたけど、地域活動支援事業のことすら知らないし、高士区の行事が地域活動支援事業で行われているってことすら知らないようです。なので、何かしたいなと思うことがあっても、一体何をどうしてすればよいのか分からないという状態のようです。それは、情報提供が不足しているのか、情報収集が不足しているのかという部分もあるし、それから横川委員が言われましたが、「若いからこそまだまだ地域に関してどうのこうの」とか、「自分たちの将来を考えて」とかということに、まだ考えが及ばない年代の方もいらっしゃるでしょう。

このような機会は初めてでしたので、どこまで言ってよいかわからない部分もあったと思います。何となく言いにくい雰囲気もあったでしょうし。

あと出前講座じゃないけれど、例えばこちら側からバレーの団体や消防団の所に行って、輪になって話せば、もうちょっと言いやすいのかなというのもあるので、結論的にはすぐに意見交換会をやったとしても、確かにそれは意味がないかなと思います。でも今後、若い世代と関わる機会を重ねていく内に、よい方向に行くのではないかなと思いました。

ただ、副会長が言われたように、やはり横のつながりが大切です。打ち合わせ会でも言いましたが、例えば、子どもがいないと子どもさんのいらっしゃる方たちとは交流がないのです。地域の中も特に最近、昔と比べれば横のつながりがなくなっているでしょうから、そこをまたつなげる必要性もあるというので、今後何かしらの活動をしていくこともあるでしょう。

具体的にすぐには何というのは思いつかないのですが、例えばその若い人たちが集まりやすい、もしくはやりたいと思う企画をやっていく中で、やはり旗を振れる人間はこの前集まった人たちみたいな人だと思います。なので、そういう人たちに色んなことを提供しながら、引っ張り上げていく時間が必要かなと思いました。

実際、打ち合わせ会の後で、「自分は参加してとても良かった。色んな人の意見も分かったし、そういうことで何か自分出来るならやっていきたい。」と言う声も聞きました。「何かやろうよ」という呼び掛けをする人がいれば、だんだん波紋のように広がっていくのかなと思います。若い世代に、きちんと情報をお伝えしていけば、よい方向に向かうと思いました。

#### 【塩坪会長】

ありがとうございました。出席者の皆さんから感想、意見を発言して頂きましたが、皆さん今程の発言に質問や意見など何かありましたら、ひとつお願いします。

#### 【飯野秀一委員】

各団体から、若い世代を集めて、打ち合わせ会をしたのは、よかったですと思います。その中で言われたように、「こういう話があったよ」ということで、若い世代の中で話を盛り上げて、今度は団体ごとの接点を作っていけば、もっとよくなると思います。

私は、色々な意見が出てよいと思います。だから、この1回目の打ち合わせ会は、ある程度成功したと思います。

#### 【塩坪会長】

ありがとうございました。

それでは、横山委員、横川委員、それから副会長から説明されたようなことで、皆さん一応この1月22日の打ち合わせ会の動向について、お分かりになりましたでしょうか。次に、今後の進め方について私どもから提案がありますので、事務局から説明をお願いします。

#### 【小林主事】

**【塩坪会長】**

ありがとうございました。それでは今程、事務局から説明して頂きましたが、「若い人向けの地域活動支援事業の説明会」を実施して、その中で若い世代の思いを聞き出すという方向の会を開くというような説明をして頂きましたが、こういう形で進めてもよろしいでしょうか。

**【横川委員】**

今、説明して頂いたのは、3月8日の募集説明会の他に、所謂若い人たちを集めてやるということですね。

**【塩坪会長】**

そうです。3月8日に実施する募集説明会とは別で行いたいと考えています。

**【北島センター長】**

今程、小林からも説明させて頂きましたが、先程出席頂いた、会長、副会長、横川委員、横山委員からもご意見等頂戴して、この繋がりを繋ぎ止めたいというふうに事務局でも考えています。なので、折角集まって、参加して頂いた皆さんとまた一緒になって、とりあえず繋がって出来ることは何かと考えたときに、この募集説明会がよいんじゃないかというふうに考え、本日提案させて頂きました。

当初は、例年通りに実施する募集説明会の中に組み込むというような発想もあったのですが、もう既に地域活動支援事業のことをご存知で来られる方がほとんどでございますので、従来の募集説明会とは別に、若い方を対象とした制度の説明会を新たに計画させて頂き、平成27年度4月1日からの募集に向けて、若い人たちの意見や考えを聞きながら、少しでも地域活動の中に若い人たちの意見を取り入れたものを提案して頂けるようにしたいというふうに考えたところでございます。是非、ご検討をお願いいたします。

**【横山委員】**

3月8日とは別でということですか。

**【北島センター長】**

別に考えています。

**【横川委員】**

若い人と言いますが、この間も意見がありましたが、どの世代が若い人なのでし



ようか。私どもも、老人会に行けば「あんちゃん」と言われますし、どの辺りの年代を対象とするのか、どのような考えをお持ちでしょうか。

**【小林主事】**

年代で区切るのではなく、「地域活動支援事業の説明会」というタイトルにしましたので、若い世代を中心に、地域活動支援事業を知らない方たちを対象としてはいかがでしょうか。先ほども話が出ましたが、「高士まつりに地域活動支援事業が使われている」というところから知らない方たちを対象にして集まって頂ければよいと考えています。

**【北島センター長】**

この間、参加して頂いた人たちに、お手元の説明会の告知のチラシを配って頂いて、広く紹介して頂く。地域活動支援事業を知らない人たちを含めて、お集まり頂ければと考えています。当然その年代の人たちが手配りするわけですから、それなりの人たちが集まって来ると事務局では考えています。年齢を固定するのではなく、今まで制度を知らなかった人たちや地域に関心の無かった人たちを掘り起こすという目的もありますので、対象年齢がいくつだとかというようなことは、特に設定するつもりはありません。

**【飯野秀一委員】**

今回の説明会が地域活動支援事業の提案とか、そういうものに結び付けられるということですね。

**【北島センター長】**

例えば「高士まつり」が、地域活動支援事業を使って実際に行われているということをご存知ない方が大勢いらっしゃるわけです。ほかにも、体育大会も一部、地域活動支援事業を使って実施されているということすら、ご存じない方もおいでになると思います。

その時に、そこで来られた人たちに、実は「高士まつり」のプログラム、催し物、出演してくれている人たちなど、全て実行委員会の皆様方の手で企画されていることのご紹介などをしていただきながら、「今日おいでになった皆さんにも実行委員会に入ってください、一緒になって皆さんの発想で何かやりませんか」とお話をして頂く。高士地区振興協議会の保坂会長さんもいらっしゃるわけですから、ぜひお話しいただきたいと思います。

先程、横山委員からもお話しいただいたのですが、あの時は対面式で、非常にこっちとあっちのような会議になってしまったんですけど、次の説明会については、事務局内での反省点として、例えば車座になって頂いて、話しやすい雰囲気の中で色々な意見を聞いたり、話したりできるような、和やかな雰囲気の中で実施したいと考えています。

**【太田委員】**

前回の会議では、講師を招くという話も出ていましたが、今回は入れないということですか。

**【北島センター長】**

今回はそのための打ち合わせ会でした。事務局から、お手元に当日の資料をお配りさせていただきましたが、最初に企画案というところをご覧ください。22日の打合せ資料をご参加頂かなかった委員の皆様方のお手元に配布しましたが、この資料No.3の内容で、例えば講師の方なども呼んで、若い人たちが興味を示すテーマで意見交換会をやりたいと提示したのですが、今日、配布した開催結果概要に記載されているようなご意見が多く出ており、若い人たちが興味のあるようなテーマで、教育問題とか子育てとかの講師を呼んで、前段は講演会をやったり、ファシリテーターや、コーディネーターに入ってもらって、意見交換をやったらどうかというようなものを提案したのですが、それに対して、「これはちょっとどうですかね、こういうことをやっても意見を言う人はあまり集まりませんよ。」といった意見が多かったのです。

なので、今ほど小林が説明をし、塩坪会長も申し上げたのですが、この企画で無理やり、強制的に2月に実施しても、集まっておいでになった方々の意見や思いを聞くことができない、実施する意味がないような意見交換会を開催しても仕方がないので、このやり方は止めたほうがよいと正副会長と事務局で考えました。

今回、折角若い人たちが9人もお集まり頂いて、初めてこのような機会を一步踏み出したわけですので、これを足掛かりに、地域の参加頂いた方々と地域協議会が関わって行くための地域活動支援事業の説明会を、意見交換会に代わる新たな企画として本日、提案させて頂いたということでございます。

**【太田委員】**

説明会の周知は、代表の人にチラシを配って、そこから広げてもらって、集まっていただくという形でしょうか。

### 【飯野副会長】

事務局が話されたのとほとんど同じなのですが、要は我々と若い世代の代表者で打ち合わせ会をやって、そこで「詳細を決めましょう」ということで、始めたんだけど、詳細に入る前にいろいろな意見が出て、協議会が考えていたとおりに進めることが難しくなったのです。だからと言って、「これで終わりにします」という訳にはいかないのです、変な言い方だけど、手を変え品を変えて、皆さんと何らかの形で、関わりを続けていきたいと考える中で、資料にも書いてありますけども、若い世代が興味を持ってくれたのが、地域活動支援事業でしたので、それを中心的に持ちながら接点を作っていこうということを考えてわけです。

### 【飯野秀一委員】

これはよいことだと思いますよ。特に既存の体育大会、我々が色々なことを具体的に提案しても反応がないのです。「これをやります」、「こうしてください」ではなくて、「こうやってやれば、今より良くなるのではないか」と、そういう意見を出してもらいたいのです。新しい提案を出してもらえばなおよいです。

### 【塩坪会長】

そういう方向で進めていきたいということで、正副会長は考えています。

### 【横山委員】

3月8日の支援事業の事前説明会と別にするということですが、私は別にしなくてもよいと思います。もちろん、そうやって丁寧にやればより意見も出るかも知れないんですけど、3月8日の次第の中にある地域活動支援事業のPRのところ、副会長の桜並木の紹介と横川委員の話と決定しましたが、そこで過去に活動支援事業を利用した若い世代の団体から、感想を発表してもらってはどうか。ただ、それだと時間が結構かかりますか。

### 【北島センター長】

そうですね、時間については、最初は事務局が説明しますが、初めての方にも分かるように時間をかけて丁寧な説明をすることが必要だと思います。

実は私どもも、事務局内で話をした時に、募集説明会を1回で一緒にやった場合、年配の方が大勢いらっしゃる中に若い人たちが来ても自由に発言することができないんじゃないかという意見もあって、私もなるほどと思いました。ただ、この間の集まってくださった方は、発言慣れしていらっしゃる方ですし、本音で語ってくれるかも

しれないのですが、そこにいらっしゃるのが町内会長さん方など、高士地域の重鎮の方々が大勢いる中で、地域に住んでいたり、これからもこの地域に住み続けたいと思っている人たちは、言いたい事も言えない、意見が言いづらい、そういう柵みたいなものがある中で、一緒にするのは難しいのかなという気がしています。

ただ協議会委員の皆様方のことも考えると、2回開催すれば、通常の募集説明会に、もう1度来ていただくというような形になりますので、その辺も含めてご検討ください。

#### 【太田委員】

委員の負担は考えなくてもよいと思いますよ。若い人たちが集まってきて、意見を出してくださるのであれば、それは皆さん納得して出てくださると思います。

30代とか20代の人を考えると、やはり目上の方が沢山いらっしゃる中で意見いうのはなかなか難しいかもしれません。話慣れていないというか。目上の人たちがいる前で、「何か言ってください」と言っても、言えないのかもしれません。やはり、本当の意見を聞きたいのであれば、別に設けたほうがよいような気がします。

#### 【塩坪会長】

私も別がよいと思います。

#### 【飯野副会長】

協議会のメンバーは委員が全員じゃなくて、前回のようメンバーがよいでしょうか。というのは、こっちから全員出ると、ますます固く考えてしまうと思うんだよね。

#### 【横川委員】

この地域活動支援事業の説明会を若い人たちを集めてやるというのは、さっき副会長が言われましたけども、手を変え品を変え、この間来られた人たちを何とか引き留めて、それで新しいような意見を聞き出したいので、こういう形で行うのですよね。

#### 【横山委員】

2回に分けてやってもよいと思うのですが、その3月8日の時に、意見を出してもらうことも大事ですけど、3月8日の時はなんなら意見は出なくてもよいと思うんですよ。ただそこに来てくれるだけで、去年は、若い世代が誰1人いなかった所に、その人たちが来るというだけでも違うでしょうし、募集説明会の内容をもう少し初心者向けに変えてもよいと思います。逆に上の世代の方たちに、若い人たちの意見を知らせてもらうということも大切です。この日はそんな簡単には発言できないでしょうけど、

それよりもまずは、地域の方が集まる場に来てもらうことのほうが重要だと思います。

**【小林主事】**

今の協議ですと、3月8日に地域活動支援事業について通常の募集説明会を開催することは、決定しています。それとは別に、若い人を対象とした活動支援事業の説明会を行うかどうかですね。行うとすれば、4月1日の募集に間に合うように行う必要があります。この2つの説明会を1つ1つ別で2回行うのか、1回にまとめて3月8日に行うのか、このどちらかになるかと思いますが、その部分については、正副会長に一任して頂いて、次回の会議までに皆さんにお伝えする形を取らせて頂いてもよろしいでしょうか。

— よしの声 —

**【塩坪会長】**

ありがとうございました。では、詳細が決まりましたらお伝えいたします。

4 その他

**【塩坪会長】**

次にその他についてです。はじめに、地域協議会だよりの発行についてですが、事務局からお願いします。

**【小林主事】**

2月15日号の地域協議会だよりで、この3月8日の募集説明会のご案内をする予定です。よろしくお願いします。

**【塩坪会長】**

よろしくお願いします。

次に、次回の開催日について、行政改革推進課からの報告事項が予定されていますので、2月中に開催をお願いしたいということです。次回の会議は2月の何日がよろしいですか。

— 日程調整 —

**【塩坪会長】**

では2月26日(木)午後6時30分から実施しますので、よろしくお願いします。その他、事務局から何かありますか。

**【小林主事】**

特にありません。

## 5 閉 会

### 【塩坪会長】

本日の議題はすべて終了しました。閉会の挨拶を飯野副会長からお願いします。

### 【飯野副会長】

今日は皆さん、お疲れのところ大変ご苦労様でした。議題が色々山積しておられて、なかなか前に進みませんが、それだけ問題がいっぱいあるのかなというふうに思います。一つずつ解決していけたらよいと思います。

今日は寒いですので、道路も凍結しているかもしれませんし、お気を付けてお帰り願いたいと思います。今日は大変ありがとうございました。

## 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。